

平成 29 年度版 国土交通省土木工事積算基準 修正情報

頁	項目	修正前	修正後
<p><33></p>	<p>間接工事費（共通仮設費の率分）</p>	<p>ロ) 共通仮設費（率分）の計算 共通仮設費(率分) = 対象額(P) × 共通仮設費率(K r) × 施工地域を考慮した補正係数 ただし、共通仮設費率は別表第 1（第 1 表～第 4 表）による。</p> <p>2) その他 設計変更時における共通仮設費率の補正については、工事区間の延長等により当初計上した補正値に増減が生じた場合、あるいは当初計上していなかったが、上記条件の変更により補正出来ることとなった場合は設計変更の対象として処理するものとする。</p> <p style="text-align: center;">—<33>—</p>	<p>ロ) 共通仮設費（率分）の計算 共通仮設費(率分) = 対象額(P) × 共通仮設費率(K r) × 施工地域を考慮した補正係数 ただし、共通仮設費率は別表第 1（第 1 表～第 5 表）による。</p> <p>2) その他 設計変更時における共通仮設費率の補正については、工事区間の延長等により当初計上した補正値に増減が生じた場合、あるいは当初計上していなかったが、上記条件の変更により補正出来ることとなった場合は設計変更の対象として処理するものとする。</p> <p style="text-align: center;">—<33>—</p>

平成 29 年度版 国土交通省土木工事積算基準 修正情報

頁	項目	修正前	修正後																																																																																																																																																																																																														
183	1 日未満で完了する作業の積算 別紙	<table border="1"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>施工パッケージ</th> <th>単位</th> <th>作業日当り標準作業量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">河川維持 光ケーブル配 管工</td> <td>多孔保護管（材料費）</td> <td>m</td> <td>-</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>ハンドホール</td> <td>個</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">道路舗装 路盤工</td> <td>不陸整正</td> <td>m2</td> <td>1,580</td> <td rowspan="10"> ・不陸整正、下層路盤（車道・路肩部）、上層路盤（車道・路肩部）（条件区分で、材料が「粒度調整砕石」に限る。）に係る作業を一連の作業として判定する。 ※上層路盤（車道・路肩部）（条件区分で、材料が「瀝青安定処理」に限る。）については、アスファルト舗装工の適用による。 </td> </tr> <tr> <td>下層路盤（車道・路肩部）</td> <td>m2</td> <td>1,110</td> </tr> <tr> <td>上層路盤（車道・路肩部）</td> <td>m2</td> <td>瀝青安定処理：2,300 粒度調整砕石：1,110</td> </tr> <tr> <td>下層路盤（歩道部）</td> <td>m2</td> <td>268</td> </tr> <tr> <td>上層路盤（歩道部）</td> <td>m2</td> <td>268</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">アスファルト 舗装工</td> <td>基層（車道・路肩部）</td> <td>m2</td> <td>各条件による</td> <td rowspan="6"> ・上層路盤（車道・路肩部）（条件区分で、材料が「瀝青安定処理」に限る。）、基層（車道・路肩部）、中間層（車道・路肩部）、表層（車道・路肩部）に係る作業を一連の作業として判定する。 ・基層（歩道部）、中間層（歩道部）、表層（歩道部）に係る作業を一連の作業として判定する。 </td> </tr> <tr> <td>中間層（車道・路肩部）</td> <td>m2</td> <td>各条件による</td> </tr> <tr> <td>表層（車道・路肩部）</td> <td>m2</td> <td>各条件による</td> </tr> <tr> <td>基層（歩道部）</td> <td>m2</td> <td>各条件による</td> </tr> <tr> <td>中間層（歩道部）</td> <td>m2</td> <td>各条件による</td> </tr> <tr> <td>表層（歩道部）</td> <td>m2</td> <td>各条件による</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">道路付 属施設</td> <td rowspan="3">立入り防止柵工</td> <td>基礎ブロック（立入り防止柵）</td> <td>個</td> <td>22</td> <td rowspan="6"> ・基礎ブロック（立入り防止柵）、金網（フェンス）・支柱（立入り防止柵）、支柱に係る作業を一連の作業として判定する。 </td> </tr> <tr> <td>金網（フェンス）・支柱（立入り防止柵）</td> <td>m</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>支柱</td> <td>本</td> <td>74</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">車止めポスト 設置工</td> <td>支柱（材料費）</td> <td>本</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>車止めポスト</td> <td>本</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>距離標</td> <td>本</td> <td>各条件による</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">道路維 持修繕</td> <td rowspan="2">路面切削工</td> <td>路面切削</td> <td>m2</td> <td>各条件による</td> <td rowspan="8"></td> </tr> <tr> <td>搬運機（路面切削）</td> <td>m3</td> <td>各条件による</td> </tr> <tr> <td>舗装版破砕工</td> <td>舗装版破砕</td> <td>m2</td> <td>各条件による</td> </tr> <tr> <td>舗装版切断工</td> <td>舗装版切断</td> <td>m</td> <td>各条件による</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">舗装版クラック 補修工</td> <td>クラック補修</td> <td>m</td> <td>620</td> <td rowspan="4"> ・クラック補修、クラック防止シート張に係る作業を一連の作業として判定する。 </td> </tr> <tr> <td>注入材（材料費）</td> <td>m</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>クラック防止シート張</td> <td>m</td> <td>930</td> </tr> <tr> <td>クラック防止シート（材料費）</td> <td>m</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	工種	施工パッケージ	単位	作業日当り標準作業量	摘要	河川維持 光ケーブル配 管工	多孔保護管（材料費）	m	-		ハンドホール	個	1	道路舗装 路盤工	不陸整正	m2	1,580	・不陸整正、下層路盤（車道・路肩部）、上層路盤（車道・路肩部）（条件区分で、材料が「粒度調整砕石」に限る。）に係る作業を一連の作業として判定する。 ※上層路盤（車道・路肩部）（条件区分で、材料が「瀝青安定処理」に限る。）については、アスファルト舗装工の適用による。	下層路盤（車道・路肩部）	m2	1,110	上層路盤（車道・路肩部）	m2	瀝青安定処理：2,300 粒度調整砕石：1,110	下層路盤（歩道部）	m2	268	上層路盤（歩道部）	m2	268	アスファルト 舗装工	基層（車道・路肩部）	m2	各条件による	・上層路盤（車道・路肩部）（条件区分で、材料が「瀝青安定処理」に限る。）、基層（車道・路肩部）、中間層（車道・路肩部）、表層（車道・路肩部）に係る作業を一連の作業として判定する。 ・基層（歩道部）、中間層（歩道部）、表層（歩道部）に係る作業を一連の作業として判定する。	中間層（車道・路肩部）	m2	各条件による	表層（車道・路肩部）	m2	各条件による	基層（歩道部）	m2	各条件による	中間層（歩道部）	m2	各条件による	表層（歩道部）	m2	各条件による	道路付 属施設	立入り防止柵工	基礎ブロック（立入り防止柵）	個	22	・基礎ブロック（立入り防止柵）、金網（フェンス）・支柱（立入り防止柵）、支柱に係る作業を一連の作業として判定する。	金網（フェンス）・支柱（立入り防止柵）	m	30	支柱	本	74	車止めポスト 設置工	支柱（材料費）	本	-	車止めポスト	本	5	距離標	本	各条件による	道路維 持修繕	路面切削工	路面切削	m2	各条件による		搬運機（路面切削）	m3	各条件による	舗装版破砕工	舗装版破砕	m2	各条件による	舗装版切断工	舗装版切断	m	各条件による	舗装版クラック 補修工	クラック補修	m	620	・クラック補修、クラック防止シート張に係る作業を一連の作業として判定する。	注入材（材料費）	m	-	クラック防止シート張	m	930	クラック防止シート（材料費）	m	-	<table border="1"> <thead> <tr> <th>工種</th> <th>施工パッケージ</th> <th>単位</th> <th>作業日当り標準作業量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">河川維持 光ケーブル配 管工</td> <td>多孔保護管（材料費）</td> <td>m</td> <td>-</td> <td rowspan="2"></td> </tr> <tr> <td>ハンドホール</td> <td>個</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">道路舗装 路盤工</td> <td>不陸整正</td> <td>m2</td> <td>1,580</td> <td rowspan="10"> ・不陸整正、下層路盤（車道・路肩部）、上層路盤（車道・路肩部）（条件区分で、材料が「粒度調整砕石」に限る。）に係る作業を一連の作業として判定する。 ※上層路盤（車道・路肩部）（条件区分で、材料が「瀝青安定処理」に限る。）については、アスファルト舗装工の適用による。 </td> </tr> <tr> <td>下層路盤（車道・路肩部）</td> <td>m2</td> <td>1,110</td> </tr> <tr> <td>上層路盤（車道・路肩部）</td> <td>m2</td> <td>各条件による</td> </tr> <tr> <td>下層路盤（歩道部）</td> <td>m2</td> <td>268</td> </tr> <tr> <td>上層路盤（歩道部）</td> <td>m2</td> <td>268</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">アスファルト 舗装工</td> <td>基層（車道・路肩部）</td> <td>m2</td> <td>各条件による</td> <td rowspan="6"> ・上層路盤（車道・路肩部）（条件区分で、材料が「瀝青安定処理」に限る。）、基層（車道・路肩部）、中間層（車道・路肩部）、表層（車道・路肩部）に係る作業を一連の作業として判定する。 ・基層（歩道部）、中間層（歩道部）、表層（歩道部）に係る作業を一連の作業として判定する。 </td> </tr> <tr> <td>中間層（車道・路肩部）</td> <td>m2</td> <td>各条件による</td> </tr> <tr> <td>表層（車道・路肩部）</td> <td>m2</td> <td>各条件による</td> </tr> <tr> <td>基層（歩道部）</td> <td>m2</td> <td>各条件による</td> </tr> <tr> <td>中間層（歩道部）</td> <td>m2</td> <td>各条件による</td> </tr> <tr> <td>表層（歩道部）</td> <td>m2</td> <td>各条件による</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">道路付 属施設</td> <td rowspan="3">立入り防止柵工</td> <td>基礎ブロック（立入り防止柵）</td> <td>個</td> <td>22</td> <td rowspan="6"> ・基礎ブロック（立入り防止柵）、金網（フェンス）・支柱（立入り防止柵）、支柱に係る作業を一連の作業として判定する。 </td> </tr> <tr> <td>金網（フェンス）・支柱（立入り防止柵）</td> <td>m</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>支柱</td> <td>本</td> <td>74</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">車止めポスト 設置工</td> <td>支柱（材料費）</td> <td>本</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>車止めポスト</td> <td>本</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>距離標</td> <td>本</td> <td>各条件による</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">道路維 持修繕</td> <td rowspan="2">路面切削工</td> <td>路面切削</td> <td>m2</td> <td>各条件による</td> <td rowspan="8"></td> </tr> <tr> <td>搬運機（路面切削）</td> <td>m3</td> <td>各条件による</td> </tr> <tr> <td>舗装版破砕工</td> <td>舗装版破砕</td> <td>m2</td> <td>各条件による</td> </tr> <tr> <td>舗装版切断工</td> <td>舗装版切断</td> <td>m</td> <td>各条件による</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">舗装版クラック 補修工</td> <td>クラック補修</td> <td>m</td> <td>620</td> <td rowspan="4"> ・クラック補修、クラック防止シート張に係る作業を一連の作業として判定する。 </td> </tr> <tr> <td>注入材（材料費）</td> <td>m</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>クラック防止シート張</td> <td>m</td> <td>930</td> </tr> <tr> <td>クラック防止シート（材料費）</td> <td>m</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	工種	施工パッケージ	単位	作業日当り標準作業量	摘要	河川維持 光ケーブル配 管工	多孔保護管（材料費）	m	-		ハンドホール	個	1	道路舗装 路盤工	不陸整正	m2	1,580	・不陸整正、下層路盤（車道・路肩部）、上層路盤（車道・路肩部）（条件区分で、材料が「粒度調整砕石」に限る。）に係る作業を一連の作業として判定する。 ※上層路盤（車道・路肩部）（条件区分で、材料が「瀝青安定処理」に限る。）については、アスファルト舗装工の適用による。	下層路盤（車道・路肩部）	m2	1,110	上層路盤（車道・路肩部）	m2	各条件による	下層路盤（歩道部）	m2	268	上層路盤（歩道部）	m2	268	アスファルト 舗装工	基層（車道・路肩部）	m2	各条件による	・上層路盤（車道・路肩部）（条件区分で、材料が「瀝青安定処理」に限る。）、基層（車道・路肩部）、中間層（車道・路肩部）、表層（車道・路肩部）に係る作業を一連の作業として判定する。 ・基層（歩道部）、中間層（歩道部）、表層（歩道部）に係る作業を一連の作業として判定する。	中間層（車道・路肩部）	m2	各条件による	表層（車道・路肩部）	m2	各条件による	基層（歩道部）	m2	各条件による	中間層（歩道部）	m2	各条件による	表層（歩道部）	m2	各条件による	道路付 属施設	立入り防止柵工	基礎ブロック（立入り防止柵）	個	22	・基礎ブロック（立入り防止柵）、金網（フェンス）・支柱（立入り防止柵）、支柱に係る作業を一連の作業として判定する。	金網（フェンス）・支柱（立入り防止柵）	m	30	支柱	本	74	車止めポスト 設置工	支柱（材料費）	本	-	車止めポスト	本	5	距離標	本	各条件による	道路維 持修繕	路面切削工	路面切削	m2	各条件による		搬運機（路面切削）	m3	各条件による	舗装版破砕工	舗装版破砕	m2	各条件による	舗装版切断工	舗装版切断	m	各条件による	舗装版クラック 補修工	クラック補修	m	620	・クラック補修、クラック防止シート張に係る作業を一連の作業として判定する。	注入材（材料費）	m	-	クラック防止シート張	m	930	クラック防止シート（材料費）	m	-
工種	施工パッケージ	単位	作業日当り標準作業量	摘要																																																																																																																																																																																																													
河川維持 光ケーブル配 管工	多孔保護管（材料費）	m	-																																																																																																																																																																																																														
	ハンドホール	個	1																																																																																																																																																																																																														
道路舗装 路盤工	不陸整正	m2	1,580	・不陸整正、下層路盤（車道・路肩部）、上層路盤（車道・路肩部）（条件区分で、材料が「粒度調整砕石」に限る。）に係る作業を一連の作業として判定する。 ※上層路盤（車道・路肩部）（条件区分で、材料が「瀝青安定処理」に限る。）については、アスファルト舗装工の適用による。																																																																																																																																																																																																													
	下層路盤（車道・路肩部）	m2	1,110																																																																																																																																																																																																														
	上層路盤（車道・路肩部）	m2	瀝青安定処理：2,300 粒度調整砕石：1,110																																																																																																																																																																																																														
	下層路盤（歩道部）	m2	268																																																																																																																																																																																																														
	上層路盤（歩道部）	m2	268																																																																																																																																																																																																														
	アスファルト 舗装工	基層（車道・路肩部）	m2		各条件による	・上層路盤（車道・路肩部）（条件区分で、材料が「瀝青安定処理」に限る。）、基層（車道・路肩部）、中間層（車道・路肩部）、表層（車道・路肩部）に係る作業を一連の作業として判定する。 ・基層（歩道部）、中間層（歩道部）、表層（歩道部）に係る作業を一連の作業として判定する。																																																																																																																																																																																																											
		中間層（車道・路肩部）	m2		各条件による																																																																																																																																																																																																												
		表層（車道・路肩部）	m2		各条件による																																																																																																																																																																																																												
		基層（歩道部）	m2		各条件による																																																																																																																																																																																																												
		中間層（歩道部）	m2		各条件による																																																																																																																																																																																																												
表層（歩道部）		m2	各条件による																																																																																																																																																																																																														
道路付 属施設	立入り防止柵工	基礎ブロック（立入り防止柵）	個	22	・基礎ブロック（立入り防止柵）、金網（フェンス）・支柱（立入り防止柵）、支柱に係る作業を一連の作業として判定する。																																																																																																																																																																																																												
		金網（フェンス）・支柱（立入り防止柵）	m	30																																																																																																																																																																																																													
		支柱	本	74																																																																																																																																																																																																													
	車止めポスト 設置工	支柱（材料費）	本	-																																																																																																																																																																																																													
		車止めポスト	本	5																																																																																																																																																																																																													
		距離標	本	各条件による																																																																																																																																																																																																													
道路維 持修繕	路面切削工	路面切削	m2	各条件による																																																																																																																																																																																																													
		搬運機（路面切削）	m3	各条件による																																																																																																																																																																																																													
	舗装版破砕工	舗装版破砕	m2	各条件による																																																																																																																																																																																																													
	舗装版切断工	舗装版切断	m	各条件による																																																																																																																																																																																																													
	舗装版クラック 補修工	クラック補修	m	620		・クラック補修、クラック防止シート張に係る作業を一連の作業として判定する。																																																																																																																																																																																																											
		注入材（材料費）	m	-																																																																																																																																																																																																													
		クラック防止シート張	m	930																																																																																																																																																																																																													
		クラック防止シート（材料費）	m	-																																																																																																																																																																																																													
工種	施工パッケージ	単位	作業日当り標準作業量	摘要																																																																																																																																																																																																													
河川維持 光ケーブル配 管工	多孔保護管（材料費）	m	-																																																																																																																																																																																																														
	ハンドホール	個	1																																																																																																																																																																																																														
道路舗装 路盤工	不陸整正	m2	1,580	・不陸整正、下層路盤（車道・路肩部）、上層路盤（車道・路肩部）（条件区分で、材料が「粒度調整砕石」に限る。）に係る作業を一連の作業として判定する。 ※上層路盤（車道・路肩部）（条件区分で、材料が「瀝青安定処理」に限る。）については、アスファルト舗装工の適用による。																																																																																																																																																																																																													
	下層路盤（車道・路肩部）	m2	1,110																																																																																																																																																																																																														
	上層路盤（車道・路肩部）	m2	各条件による																																																																																																																																																																																																														
	下層路盤（歩道部）	m2	268																																																																																																																																																																																																														
	上層路盤（歩道部）	m2	268																																																																																																																																																																																																														
	アスファルト 舗装工	基層（車道・路肩部）	m2		各条件による	・上層路盤（車道・路肩部）（条件区分で、材料が「瀝青安定処理」に限る。）、基層（車道・路肩部）、中間層（車道・路肩部）、表層（車道・路肩部）に係る作業を一連の作業として判定する。 ・基層（歩道部）、中間層（歩道部）、表層（歩道部）に係る作業を一連の作業として判定する。																																																																																																																																																																																																											
		中間層（車道・路肩部）	m2		各条件による																																																																																																																																																																																																												
		表層（車道・路肩部）	m2		各条件による																																																																																																																																																																																																												
		基層（歩道部）	m2		各条件による																																																																																																																																																																																																												
		中間層（歩道部）	m2		各条件による																																																																																																																																																																																																												
表層（歩道部）		m2	各条件による																																																																																																																																																																																																														
道路付 属施設	立入り防止柵工	基礎ブロック（立入り防止柵）	個	22	・基礎ブロック（立入り防止柵）、金網（フェンス）・支柱（立入り防止柵）、支柱に係る作業を一連の作業として判定する。																																																																																																																																																																																																												
		金網（フェンス）・支柱（立入り防止柵）	m	30																																																																																																																																																																																																													
		支柱	本	74																																																																																																																																																																																																													
	車止めポスト 設置工	支柱（材料費）	本	-																																																																																																																																																																																																													
		車止めポスト	本	5																																																																																																																																																																																																													
		距離標	本	各条件による																																																																																																																																																																																																													
道路維 持修繕	路面切削工	路面切削	m2	各条件による																																																																																																																																																																																																													
		搬運機（路面切削）	m3	各条件による																																																																																																																																																																																																													
	舗装版破砕工	舗装版破砕	m2	各条件による																																																																																																																																																																																																													
	舗装版切断工	舗装版切断	m	各条件による																																																																																																																																																																																																													
	舗装版クラック 補修工	クラック補修	m	620		・クラック補修、クラック防止シート張に係る作業を一連の作業として判定する。																																																																																																																																																																																																											
		注入材（材料費）	m	-																																																																																																																																																																																																													
		クラック防止シート張	m	930																																																																																																																																																																																																													
		クラック防止シート（材料費）	m	-																																																																																																																																																																																																													
		—183—	—183—																																																																																																																																																																																																														

平成 29 年度版 国土交通省土木工事積算基準 修正情報

頁	項目	修正前	修正後																								
671	鋼橋架設工	<p style="text-align: center;">16章 橋梁 ② 鋼橋架設工 ②-1 鋼橋架設工</p> <p>11-4 ベント基礎設置・撤去 鋼板によるベント基礎設置・撤去歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表11.4 ベント基礎設置・撤去歩掛</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">機 械 名</th> <th style="width: 30%;">日当り施工量 D₀ (m²/日)</th> <th colspan="2">編 成 人 員 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型 (第2次基準値) 25t吊</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">$D_0 = \frac{A}{0.011A+0.55}$</td> <td style="width: 15%;">橋りよう世話役</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>橋りよう特殊工</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> </tbody> </table> <p>A：ベント基礎の延面積 (m²) (注) 1. 鋼板規格は、鋼板厚さ22mmを標準とする。 2. 整地が必要な場合は、別途計上する。 3. 鋼板損耗費は、別途計上する。 4. 現場条件によりラフテレーンクレーンの規格が上表により難しい場合は、現場条件に適した規格を選定する。 5. 日当り施工量D₀は整数とし、小数点第1位を四捨五入し、整数止めとする。 6. ベント基礎の延面積 (A) は次式による。 $A = \sum A_i$ $A_i = (B+2) \times 3$ ただし、A_i：ベント1基当りの基礎の面積 (m²) B：外桁～外桁間隔 (箱桁は外Web～外Web間隔) (m) h：ベント高さ (基礎天端から主桁下端まで) (m) W：ベント基礎の幅 (m) なお、A_i、B、hとも小数点第2位を四捨五入とし、第1位単位止めとする。 7. 鋼板供用1日当り損耗費については、ベント設備供用1日当り損料に付表-1の率を乗じるものとする。なお、鋼板供用日数は、ベント設備供用日数と同等にする。</p> <p style="text-align: center;">付表-1 ベント基礎に鋼板を使う場合のベント設備供用1日当り損料に乘ずる率</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">ベント設備損料に乘ずる率(%)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> </table> <p>(注) ベント設備に乗じた率から算出した金額を上限として計上する。</p>	機 械 名	日当り施工量 D ₀ (m ² /日)	編 成 人 員 (人)		ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型 (第2次基準値) 25t吊	$D_0 = \frac{A}{0.011A+0.55}$	橋りよう世話役	1	橋りよう特殊工	4	ベント設備損料に乘ずる率(%)	2	<p style="text-align: center;">16章 橋梁 ② 鋼橋架設工 ②-1 鋼橋架設工</p> <p>11-4 ベント基礎設置・撤去 鋼板によるベント基礎設置・撤去歩掛は、次表を標準とする。</p> <p style="text-align: center;">表11.4 ベント基礎設置・撤去歩掛</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">機 械 名</th> <th style="width: 30%;">日当り施工量 D₀ (m²/日)</th> <th colspan="2">編 成 人 員 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型 (第2次基準値) 25t吊</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">$D_0 = \frac{A}{0.011A+0.55}$</td> <td style="width: 15%;">橋りよう世話役</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>橋りよう特殊工</td> <td style="text-align: center;">4</td> </tr> </tbody> </table> <p>A：ベント基礎の延面積 (m²) (注) 1. 鋼板規格は、鋼板厚さ22mmを標準とする。 2. 整地が必要な場合は、別途計上する。 3. 鋼板損耗費は、別途計上する。 4. 現場条件によりラフテレーンクレーンの規格が上表により難しい場合は、現場条件に適した規格を選定する。 5. 日当り施工量D₀は整数とし、小数点第1位を四捨五入し、整数止めとする。 6. ベント基礎の延面積 (A) は次式による。 $A = \sum A_i$ $A_i = (B+2) \times 3$ ただし、A_i：ベント1基当りの基礎の面積 (m²) B：外桁～外桁間隔 (箱桁は外Web～外Web間隔) (m) なお、A_i、Bとも小数点第2位を四捨五入とし、第1位単位止めとする。 7. 鋼板供用1日当り損耗費については、ベント設備供用1日当り損料に付表-1の率を乗じるものとする。なお、鋼板供用日数は、ベント設備供用日数と同等にする。</p> <p style="text-align: center;">付表-1 ベント基礎に鋼板を使う場合のベント設備供用1日当り損料に乘ずる率</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="text-align: center;">ベント設備損料に乘ずる率(%)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> </table> <p>(注) ベント設備に乗じた率から算出した金額を上限として計上する。</p>	機 械 名	日当り施工量 D ₀ (m ² /日)	編 成 人 員 (人)		ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型 (第2次基準値) 25t吊	$D_0 = \frac{A}{0.011A+0.55}$	橋りよう世話役	1	橋りよう特殊工	4	ベント設備損料に乘ずる率(%)	2
機 械 名	日当り施工量 D ₀ (m ² /日)	編 成 人 員 (人)																									
ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型 (第2次基準値) 25t吊	$D_0 = \frac{A}{0.011A+0.55}$	橋りよう世話役	1																								
		橋りよう特殊工	4																								
ベント設備損料に乘ずる率(%)																											
2																											
機 械 名	日当り施工量 D ₀ (m ² /日)	編 成 人 員 (人)																									
ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型・ 排出ガス対策型 (第2次基準値) 25t吊	$D_0 = \frac{A}{0.011A+0.55}$	橋りよう世話役	1																								
		橋りよう特殊工	4																								
ベント設備損料に乘ずる率(%)																											
2																											

平成 29 年度版 国土交通省土木工事積算基準 修正情報

頁	項目	修正前	修正後																																																																																																																																																																																								
1619	作業日当り標準作業量	<p style="text-align: center;">13 章 その他 ② 作業日当り標準作業量</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center;">工 種 名</th> <th colspan="4" style="text-align: center;">設 定 内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4" rowspan="2">路盤工</td> <td colspan="4">① 不陸整正, 下層路盤, 上層路盤 (1日・1層当り)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">施工区分</td> <td style="text-align: center;">工 種</td> <td style="text-align: center;">単 位</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">作業日当り標準作業量</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4" rowspan="5"></td> <td colspan="2" rowspan="2" style="text-align: center;">車道・路肩部</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">不陸整正</td> <td style="text-align: center;">1,580 m²/日・層</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">下層路盤</td> <td style="text-align: center;">1,110 m²/日・層</td> </tr> <tr> <td colspan="2" rowspan="2" style="text-align: center;">施 工</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">上層路盤 (瀝青安定処理)</td> <td style="text-align: center;">2,300 m²/日・層</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">上層路盤 (粒度調整碎石)</td> <td style="text-align: center;">1,110 m²/日・層</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">歩道施工</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">下層路盤及び上層路盤</td> <td style="text-align: center;">268 m²/日・層</td> </tr> <tr> <td colspan="8"> (注) 1. 下層路盤の一層当りの仕上り厚さは 20cm までとする。 2. 上層路盤の一層当りの仕上り厚さは 15cm まで (瀝青安定処理路盤の場合は 10cm) とする。 </td> </tr> <tr> <td colspan="4" rowspan="2">路盤工 (ICT)</td> <td colspan="4">① 不陸整正 (ICT), 下層路盤 (ICT), 上層路盤 (ICT) (1日・1層当り)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">工 種</td> <td style="text-align: center;">単 位</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">作業日当り標準作業量</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4" rowspan="4"></td> <td colspan="2" style="text-align: center;">不陸整正 (ICT)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">1,920 m²/日・層</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">下層路盤 (車道・路肩部) (ICT)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">1,350 m²/日・層</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">上層路盤 (車道・路肩部) (ICT)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">1,350 m²/日・層</td> </tr> <tr> <td colspan="8"> (注) 1. 下層路盤の一層当りの仕上り厚さは 20cm までとする。 2. 上層路盤の一層当りの仕上り厚さは 15cm までとする。 </td> </tr> </tbody> </table>	工 種 名				設 定 内 容				路盤工				① 不陸整正, 下層路盤, 上層路盤 (1日・1層当り)				施工区分	工 種	単 位	作業日当り標準作業量							車道・路肩部		不陸整正		1,580 m ² /日・層	下層路盤		1,110 m ² /日・層	施 工		上層路盤 (瀝青安定処理)		2,300 m ² /日・層	上層路盤 (粒度調整碎石)		1,110 m ² /日・層	歩道施工		下層路盤及び上層路盤		268 m ² /日・層	(注) 1. 下層路盤の一層当りの仕上り厚さは 20cm までとする。 2. 上層路盤の一層当りの仕上り厚さは 15cm まで (瀝青安定処理路盤の場合は 10cm) とする。								路盤工 (ICT)				① 不陸整正 (ICT), 下層路盤 (ICT), 上層路盤 (ICT) (1日・1層当り)				工 種	単 位	作業日当り標準作業量							不陸整正 (ICT)		1,920 m ² /日・層		下層路盤 (車道・路肩部) (ICT)		1,350 m ² /日・層		上層路盤 (車道・路肩部) (ICT)		1,350 m ² /日・層		(注) 1. 下層路盤の一層当りの仕上り厚さは 20cm までとする。 2. 上層路盤の一層当りの仕上り厚さは 15cm までとする。								<p style="text-align: center;">13 章 その他 ② 作業日当り標準作業量</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center;">工 種 名</th> <th colspan="4" style="text-align: center;">設 定 内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4" rowspan="2">路盤工</td> <td colspan="4">① 不陸整正, 下層路盤, 上層路盤 (1日・1層当り)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">施工区分</td> <td style="text-align: center;">工 種</td> <td style="text-align: center;">単 位</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">作業日当り標準作業量</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4" rowspan="5"></td> <td colspan="2" rowspan="2" style="text-align: center;">車道・路肩部</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">不陸整正</td> <td style="text-align: center;">1,580 m²/日・層</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">下層路盤</td> <td style="text-align: center;">1,110 m²/日・層</td> </tr> <tr> <td colspan="2" rowspan="2" style="text-align: center;">施 工</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">上層路盤 (瀝青安定処理)</td> <td style="text-align: center;">2,300 m²/日・層</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">上層路盤 (粒度調整碎石)</td> <td style="text-align: center;">1,110 m²/日・層</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">歩道施工</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">下層路盤及び上層路盤</td> <td style="text-align: center;">268 m²/日・層</td> </tr> <tr> <td colspan="8"> (注) 1. 下層路盤の一層当りの仕上り厚さは 20cm までとする。 2. 上層路盤の一層当りの仕上り厚さは 15cm まで (瀝青安定処理路盤の場合は 10cm) とする。 </td> </tr> <tr> <td colspan="4" rowspan="2">路盤工 (ICT)</td> <td colspan="4">① 不陸整正 (ICT), 下層路盤 (ICT), 上層路盤 (ICT) (1日・1層当り)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">工 種</td> <td style="text-align: center;">単 位</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">作業日当り標準作業量</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4" rowspan="4"></td> <td colspan="2" style="text-align: center;">不陸整正 (ICT)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">1,920 m²/日・層</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">下層路盤 (車道・路肩部) (ICT)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">1,350 m²/日・層</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">上層路盤 (車道・路肩部) (ICT)</td> <td colspan="2" style="text-align: center;">1,350 m²/日・層</td> </tr> <tr> <td colspan="8"> (注) 1. 下層路盤の一層当りの仕上り厚さは 20cm までとする。 2. 上層路盤の一層当りの仕上り厚さは 15cm までとする。 </td> </tr> </tbody> </table>	工 種 名				設 定 内 容				路盤工				① 不陸整正, 下層路盤, 上層路盤 (1日・1層当り)				施工区分	工 種	単 位	作業日当り標準作業量							車道・路肩部		不陸整正		1,580 m ² /日・層	下層路盤		1,110 m ² /日・層	施 工		上層路盤 (瀝青安定処理)		2,300 m²/日・層	上層路盤 (粒度調整碎石)		1,110 m ² /日・層	歩道施工		下層路盤及び上層路盤		268 m ² /日・層	(注) 1. 下層路盤の一層当りの仕上り厚さは 20cm までとする。 2. 上層路盤の一層当りの仕上り厚さは 15cm まで (瀝青安定処理路盤の場合は 10cm) とする。								路盤工 (ICT)				① 不陸整正 (ICT), 下層路盤 (ICT), 上層路盤 (ICT) (1日・1層当り)				工 種	単 位	作業日当り標準作業量							不陸整正 (ICT)		1,920 m ² /日・層		下層路盤 (車道・路肩部) (ICT)		1,350 m ² /日・層		上層路盤 (車道・路肩部) (ICT)		1,350 m ² /日・層		(注) 1. 下層路盤の一層当りの仕上り厚さは 20cm までとする。 2. 上層路盤の一層当りの仕上り厚さは 15cm までとする。							
工 種 名				設 定 内 容																																																																																																																																																																																							
路盤工				① 不陸整正, 下層路盤, 上層路盤 (1日・1層当り)																																																																																																																																																																																							
				施工区分	工 種	単 位	作業日当り標準作業量																																																																																																																																																																																				
				車道・路肩部		不陸整正		1,580 m ² /日・層																																																																																																																																																																																			
						下層路盤		1,110 m ² /日・層																																																																																																																																																																																			
				施 工		上層路盤 (瀝青安定処理)		2,300 m ² /日・層																																																																																																																																																																																			
						上層路盤 (粒度調整碎石)		1,110 m ² /日・層																																																																																																																																																																																			
				歩道施工		下層路盤及び上層路盤		268 m ² /日・層																																																																																																																																																																																			
(注) 1. 下層路盤の一層当りの仕上り厚さは 20cm までとする。 2. 上層路盤の一層当りの仕上り厚さは 15cm まで (瀝青安定処理路盤の場合は 10cm) とする。																																																																																																																																																																																											
路盤工 (ICT)				① 不陸整正 (ICT), 下層路盤 (ICT), 上層路盤 (ICT) (1日・1層当り)																																																																																																																																																																																							
				工 種	単 位	作業日当り標準作業量																																																																																																																																																																																					
				不陸整正 (ICT)		1,920 m ² /日・層																																																																																																																																																																																					
				下層路盤 (車道・路肩部) (ICT)		1,350 m ² /日・層																																																																																																																																																																																					
				上層路盤 (車道・路肩部) (ICT)		1,350 m ² /日・層																																																																																																																																																																																					
				(注) 1. 下層路盤の一層当りの仕上り厚さは 20cm までとする。 2. 上層路盤の一層当りの仕上り厚さは 15cm までとする。																																																																																																																																																																																							
工 種 名				設 定 内 容																																																																																																																																																																																							
路盤工				① 不陸整正, 下層路盤, 上層路盤 (1日・1層当り)																																																																																																																																																																																							
				施工区分	工 種	単 位	作業日当り標準作業量																																																																																																																																																																																				
				車道・路肩部		不陸整正		1,580 m ² /日・層																																																																																																																																																																																			
						下層路盤		1,110 m ² /日・層																																																																																																																																																																																			
				施 工		上層路盤 (瀝青安定処理)		2,300 m²/日・層																																																																																																																																																																																			
						上層路盤 (粒度調整碎石)		1,110 m ² /日・層																																																																																																																																																																																			
				歩道施工		下層路盤及び上層路盤		268 m ² /日・層																																																																																																																																																																																			
(注) 1. 下層路盤の一層当りの仕上り厚さは 20cm までとする。 2. 上層路盤の一層当りの仕上り厚さは 15cm まで (瀝青安定処理路盤の場合は 10cm) とする。																																																																																																																																																																																											
路盤工 (ICT)				① 不陸整正 (ICT), 下層路盤 (ICT), 上層路盤 (ICT) (1日・1層当り)																																																																																																																																																																																							
				工 種	単 位	作業日当り標準作業量																																																																																																																																																																																					
				不陸整正 (ICT)		1,920 m ² /日・層																																																																																																																																																																																					
				下層路盤 (車道・路肩部) (ICT)		1,350 m ² /日・層																																																																																																																																																																																					
				上層路盤 (車道・路肩部) (ICT)		1,350 m ² /日・層																																																																																																																																																																																					
				(注) 1. 下層路盤の一層当りの仕上り厚さは 20cm までとする。 2. 上層路盤の一層当りの仕上り厚さは 15cm までとする。																																																																																																																																																																																							